

# NSW

この国の未来を、IoTで変えていく。



株主通信

## 第51期 中間報告書

2016年4月1日 → 2016年9月30日

日本システムウェア株式会社

証券コード：9739

# Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第51期中間期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しつつも、中国をはじめとする新興国経済の減速や円高等の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス産業界におきましては、国内経済の先行きに懸念はあるものの、金融業や製造業を中心にIT投資は引き続き堅調に推移しております。また、IoTやビッグデータ活用ニーズが拡大するとともに、AIやフィンテックなど新たなソリューションへの期待が高まってきております。

このような状況の下、当社グループは、今年度スタートした中期経営計画において事業変革を加速する「Drive Innovation」をスローガンに掲げ、「IoT分野の事業拡大」、「コア事業の顧客基盤強化と高付加価値化」に取り組んでおります。NSWグループの総合力と技術融合により、お客様のビジネスにイノベーションをもたらす価値創造パートナーとして持続的成長を遂げる企業を目指してまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は150億41百万円（前年同四半期比1.1%増）、売上高は143億43百万円（同1.9%増）、営業利益は8億83百万円（同26.1%増）、経常利益は9億円（同24.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億17百万円（同33.5%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月



代表取締役執行役員社長  
多田 尚二

# Business Segment Overview

## 連結部門別事業の概況

### ITソリューション

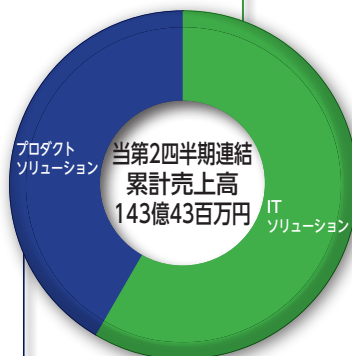
59.7%

売上高につきましては、ソリューション事業における製造業向け、官公庁向け開発案件、ならびにシステム運用事業が増加し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、不採算案件の減少、開発計画の見直しなどにより、増益となりました。これらの結果、受注高は89億80百万円（前年同四半期比2.8%増）、売上高は85億57百万円（同6.1%増）、営業利益は3億11百万円（同211.6%増）となりました。

### プロダクトソリューション

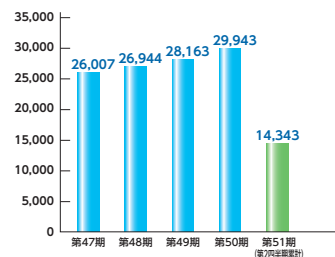
40.3%

売上高につきましては、デバイス開発事業は堅調に推移したものの、組込みソフトウェア開発事業における通信インフラ分野の減少により、減収となりました。利益につきましては、減収に伴い減益となりました。これらの結果、受注高は60億61百万円（前年同四半期比1.3%減）、売上高は57億86百万円（同3.8%減）、営業利益は5億71百万円（同4.8%減）となりました。



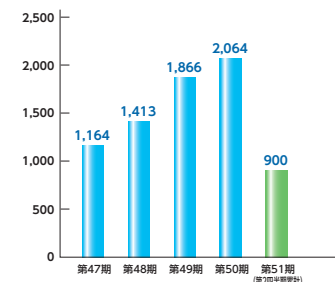
## 売上高

(単位: 百万円)



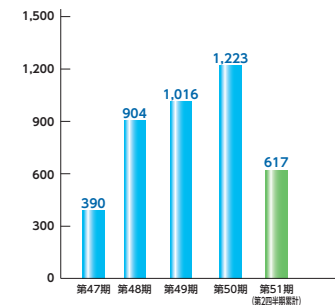
## 経常利益

(単位: 百万円)



## 親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

(単位: 百万円)



# Financial Statements

## 連結財務諸表

### ■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 2016年9月30日現在	前連結会計年度末 2016年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>12,092</b>	<b>12,303</b>
現金及び預金	3,802	3,557
受取手形及び売掛金	6,413	7,216
商品	248	201
仕掛品	1,044	723
貯蔵品	2	2
繰延税金資産	310	410
その他	269	191
<b>固定資産</b>	<b>8,770</b>	<b>8,715</b>
有形固定資産	6,943	7,004
無形固定資産	81	96
投資その他の資産	1,745	1,614
<b>資産合計</b>	<b>20,862</b>	<b>21,018</b>
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,007</b>	<b>4,688</b>
<b>固定負債</b>	<b>2,238</b>	<b>2,177</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,245</b>	<b>6,866</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>14,607</b>	<b>14,119</b>
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	9,021	8,533
自己株式	△0	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>9</b>	<b>32</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,617</b>	<b>14,151</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>20,862</b>	<b>21,018</b>

### POINT

#### ●総資産

総資産は、208億62百万円となり、前連結会計年度末比1億55百万円の減少となりました。これは主に、仕掛品の増加(3億21百万円)、現金及び預金の増加(2億44百万円)があったものの、受取手形及び売掛金の減少(8億2百万円)があったことによるものです。

#### ●総負債

総負債は、62億45百万円となり、前連結会計年度末比6億20百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少(2億81百万円)、賞与引当金の減少(1億44百万円)があったことによるものです。

#### ●純資産

純資産は、146億17百万円となり、前連結会計年度末比4億65百万円の増加となりました。

## ■ 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	14,343	14,081
売上原価	11,936	11,835
売上総利益	2,406	2,246
販売費及び一般管理費	1,523	1,545
営業利益	883	700
営業外収益	20	26
営業外費用	2	3
経常利益	900	722
特別損失	0	6
税金等調整前四半期純利益	900	716
法人税・住民税及び事業税	198	238
法人税等調整額	83	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	617	462

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	719	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222	△134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	244	△51
現金及び現金同等物の期首残高	3,557	2,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,802	2,464

## POINT

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、7億19百万円(前年同四半期比6億2百万円の収入の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億円、売上債権の減少額8億3百万円、たな卸資産の増加額3億68百万円、法人税等の支払額5億3百万円によるものであります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2億33百万円(前年同四半期比1億96百万円の支出の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億83百万円によるものであります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2億22百万円(前年同四半期比88百万円の支出の増加)となりました。これは配当金の支払2億22百万円によるものであります。



### お客様に最適なIoTソリューションを提供してまいります！

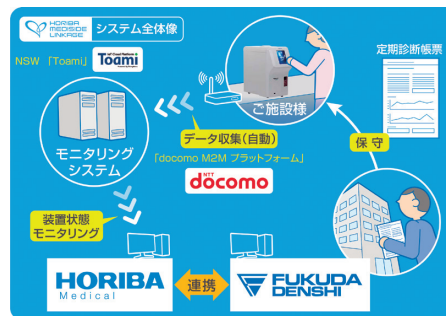


#### ・ThingWorxのグローバルパートナー最優秀賞を受賞

今年6月、当社は米国PTC社よりThingWorx (PTC IoT事業) のパートナーアワード「Top Bookings Partner of the Year 2016」を受賞しました。これは新規顧客開拓やエンジニア育成などの取り組みが総合的に評価されたことによるものです。当社は2013年からThingWorxと日本国内でのIoTサービス展開に関するパートナー契約を締結し「Toami」の名称でサービスを提供しており、今後も同社との強力なパートナーシップを継続し、革新的なIoTクラウドプラットフォームを提供してまいります。

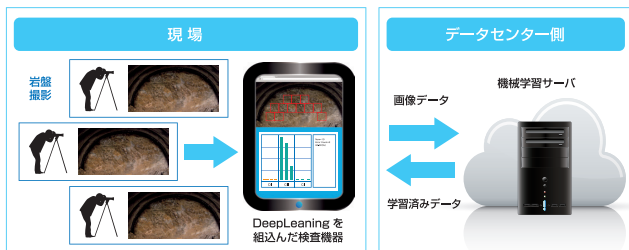
#### ・Toami、堀場製作所様の医療機器保守システムに採用

堀場製作所様の医療用機器向け総合保守サービス支援システムに「Toami」が採用され、10月から運用が開始されました。本システムは機器のメンテナンス情報を集中監視し、故障などによる停止時間の短縮を目指すものです。機器から取得したデータをNTTドコモ様の通信回線サービスを介し「Toami」に蓄積し可視化することで機器制御やデータ分析に活用することが可能です。今後も同社から発売される製品には順次本システムが採用される予定です。



### AI活用の画像診断システム、安藤ハザマ様の地質評価で試験運用開始

当社はデバイス開発事業における画像処理技術を応用し、9月よりディープラーニング（深層学習）による画像解析サービスの提供を開始しました。また、本サービスは安藤ハザマ様のトンネル建設現場における地質評価システムに採用され、試験運用が開始されました。先に行った実証実験ではトンネル掘削時の地質評価に特化した「トンネル切羽AI自動評価システム」（特許出願第2016・146956号）を共同開発し、8割以上の精度で岩盤強度を評価することが可能になりました。当社ではこの技術を製造現場の設備劣化判定や医療用画像解析など幅広い分野へ応用していく予定です。



# Corporate data

## 会社情報

### 会社の概況

(2016年9月30日現在)

商号	日本システムウエア株式会社
設立	1966年(昭和41年)8月3日
本社	東京都渋谷区桜丘町31番11号
資本金	55億円
代表取締役	執行役員社長 多田 尚二
従業員数	2,018名(連結)
取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行
主たる 関係会社	NSWテクノサービス株式会社 京石刻恩信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSWウィズ株式会社
事業拠点	渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡

### 株式の状況

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	14,900,000株
株主数	3,983名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
㈱タダ・コーポレーション	5,000	33.55
多田修人	1,537	10.31
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	672	4.51
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	459	3.08
日本システムウエア従業員持株会	453	3.04
木田裕介	346	2.32
多田尚二	314	2.10
多田直樹	300	2.01
日本電気㈱	294	1.97
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	270	1.81

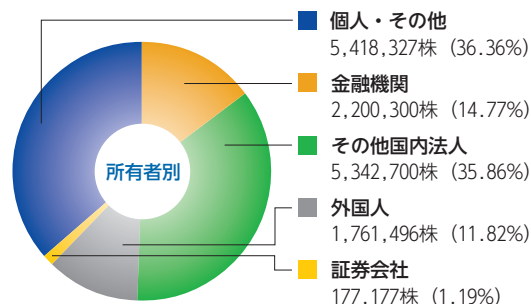
※ 持株比率は自己株式(230株)を控除して計算しております。

### 役員構成

(2016年9月30日現在)

取締役会長	多田 修人	執行役員常務	板山 可成
代表取締役執行役員社長	多田 尚二	執行役員	小山 文雄
取締役執行役員副社長	桑原 公生	執行役員	山口 真吾
取締役執行役員専務	大田 亨	執行役員	中山 寿人
取締役執行役員常務	小関 誠一	執行役員	杉浦 公一
取締役監査等委員	飯郷 直行	執行役員	衛藤 純二
取締役監査等委員(社外)	小谷野幹雄	執行役員	西郷 正宏
取締役監査等委員(社外)	鹿島浩之助	執行役員	鈴木 晴雄

### 株式分布状況(株式数構成比)



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
公告掲載URL <http://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じた時には、  
日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の  
本店および全国各支店で行なっております。

## ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新情報、業績情報などを掲載しているほか、アナリスト向け決算説明会での社長による決算説明会資料など、当社をご理解いただくための情報提供の充実にも努めております。

また、CSR（企業の社会的責任）への取り組みについてもご案内をしていますので、どうぞご覧ください。当社は、今後も株主の皆様への積極的な情報発信に努めてまいります。

[ ホームページ ] <http://www.nsw.co.jp/>

## 住所変更、単元未満株式の買取等の お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行なう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行なう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。



当社は個人情報管理の社内の仕組みの構築、実施、維持改善活動を行ない、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことにより、社会の信頼に応えてまいります。



2007年より、当社は「両立支援（従業員の子育て支援）に積極的に取り組む企業」として、厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を継続して受けております。

